

大阪市高齢者実態調査
(ひとり暮らし調査)
前回との調査項目対比表

平成 25 年 7 月

大阪市 福祉局 高齢福祉課

前回との調査項目対比表【一覧】

設問・設問の内容		検討内容	理由	対比表
問1	ひとり暮らしの期間	そのまま	クロス集計用 (ひとり 問1)	P5
問2	現在の住宅に住み続けたいか	削除	本人調査に在宅希望の設問あり。 (本人 問29)	P5～6
	2-1 住み続けたい理由			
	2-2 住み続けたくない理由			
問3	(1) 手すりの有無	削除	本人調査にバリアフリーの対応に関する設問あり。 (本人 問5)	P6
	(2) 段差解消工事の有無			
問4	1年間の転倒の有無	削除	調査項目を絞る。	P7
	4-1 どこで転んだか			
問5	転ばないために気をつけること	削除	調査項目を絞る。	P7
問6	安全や防災面で普段意識すること	本人調査へ移行	防災面の不安調査は本人調査へ (本人 問37・問37-1・問38)	P8
問7	仕事や家事以外の普段の過ごし方	削除	調査項目を絞る。	P8
問8	(1) 普段、自身で掃除をしているか	削除	調査項目を絞る。 本人調査に日常生活全般に関する設問あり。 (本人 問7)	P9
	(2) 普段、自身で洗濯をしているか			
	(3) 普段、自身で日曜品を購入しているか			
	(4) 普段、自身でゴミ出しをしているか			
	(5) 普段、自身で布団干しをしているか			
問9	食事の用意の方法と頻度	削除	調査項目を絞る。	P10
問10	食事の後片付けを自身ですか			
問11	普段の食事で困っていること			

前回との調査項目対比表【一覧】

設問・設問の内容		検討内容	理由	対比表
問12	(1) 買い物のための外出頻度と外出の手段	削除	本人調査に外出に関する設問あり。 (本人 問8・問8-1・問9)	P11～12
	(2) 通院のための外出頻度と外出の手段			
	(3) 仕事のための外出頻度と外出の手段			
	(4) 散歩や趣味のための外出頻度と外出の手段			
問13	外出の際の同行者	削除	調査項目を絞る。	P12
	13-1 外出の際の福祉用具			
問14	(1) 電話を含めた連絡を取り合う家族や親族	改変し残す	家族等との普段のつながりの把握のため、質問を見直して残す。 (ひとり 問3・4・5)	P13～14
	(2) 実際に行き来のある家族や親族			
	(3) 一番行き来のある家族や親族			
	14-1 一番行き来のある家族等の居住地(近さ)			
	14-2 一番行き来のある家族等の交流頻度			
問15	ペットを飼っているか	削除	家族・地域とのつながりの把握に絞る。	P14
問16	親しい友人の有無	改変し残す	友人等日頃のつながり状況を把握 (ひとり 問6・問6-1・問6-2)	P14
	16-1 親しい友人との交流頻度			
問17	家族等・友人との連絡手段	削除	調査項目を絞る。	P14
問18	現在の地域に住み始めてからの期間	本人調査へ移行	本人調査(問2(4))として設定。	P15
問19	近所づきあいの有無	本人調査へ移行	本人調査(問18・問18-1)で、孤立化に関する設問を設定。	P15
	19-1 近所づきあいの少ない理由			

前回との調査項目対比表【一覧】

設問・設問の内容		検討内容	理由	対比表
問20(1)	ボランティアに参加しているか	本人調査へ移行	地域活動への参加意識や地域貢献への意識およびいきがい施策について問う設問として改編し、本人調査へ移行。 (本人 (問19・問19-1・問19-2・問24))	P16
20-1(1)	どんなボランティアに参加しているか			
20-2(2)	ボランティアに参加しない理由			
問20(2)	趣味・サークルに参加しているか			
20 1(2)	どんな趣味・サークルに参加しているか			
20 2(2)	趣味・サークルに参加しない理由			P17
問21	町会・老人会等地域の活動に参加しているか	本人調査へ移行	地域活動への参加意識や地域貢献への意識およびいきがい施策について問う設問として改編し、本人調査へ移行。 (本人 (問19・問19-1・問19-2・問24))	P18
21-1	どのような活動に参加しているか			
21-2	参加しない理由			
問22	近所・地域のつながりは必要か	削除	調査項目を絞る。	P19
22-1	必要と思う理由			
22-2	必要ないと思う理由			
問23	週に誰とも話さない日は何日あるか	改変し残す	孤立状況について把握 (ひとり 問7)	P19
問24	日常の用事・支援を誰かに頼んでいるか	削除	調査項目を絞る。	P19
問25	ボランティアなど介護保険サービス以外に利用しているサービス	本人調査へ移行	日頃、不安に思うことを尋ねる設問からニーズを把握するものとして改編し、本人調査へ移行。 (本人 問22・問23)	P20～21
(1～5)	身体介助・安否確認・家事援助・外出の援助・話し相手、相談			
25-1	具体的にどのようなサービスを利用しているか			
25-2	必要だが受けていない場合の理由			
問26	ボランティアなどから今後支援を受けたいサービス			
(1～5)	身体介助・安否確認・家事援助・外出の援助・話し相手、相談			
26-1	具体的にどのようなサービスを受けたいか			
26-2	支援を受けたくない場合の理由			

前回との調査項目対比表【一覧】

設問・設問の内容		検討内容	理由	対比表
問27	災害時に一人で判断し避難できるか	本人調査へ移行	本人調査として設定する方向で検討。 (本人 問37・問37-1・問38)	P22
問28	災害時・急病等の際に支援してくれる人の有無	変更し残す	急な怪我、病気等の際の支援者の存在について尋ねるため。 (ひとり 問8・8-1)	P22
28-1	支援してくれる人との関係・距離(所要時間)			
問29	一年以内に3日以上身体・生活上の介護を要したか	変更し残す	過去に支援が必要となった際の具体的な状況について尋ねる。 (ひとり 問10、問10-1)	P23
29-1	要した場合、どこで療養したか			
29-2	要した場合、誰が支援してくれたか			
問30	権利擁護について不安に思うことは何か	本人調査へ移行	本人調査に不安なことについて問う設問あり。 制度の周知は、本人調査へ移行。 (本人 問42(6)(7))	P24～25
問31	(1) 成年後見制度を知っているか (2) あんしんサポート事業を知っているか			
問32	情報を得る手段は何かがあるか	本人調査へ移行	本人調査にあり。(本人 問44)	P25
問33	どのような情報が必要か	削除	調査項目を絞る。	P25

【新しく追加した設問】

設問・設問の内容		検討内容	理由	対比表
新設 - 問2	健康状態について	追加	健康状態と他の設問とのクロス集計用	-
新設 - 問9	ひとり暮らしの中で不安に思うことは何か	追加	本人調査(問15・問15-1)においても日頃不安に思うことについての設問はあるが、ひとり暮らしの方に特有の暮らしの中の不安要素やニーズについて把握する。	-

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容		
問1 ひとり暮らしになって、どれくらい経ちますか。（ はひとつ）		
1. 1年未満	2. 1年以上3年未満	3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満	5. 10年以上15年未満	6. 15年以上20年未満
7. 20年以上30年未満	8. 30年以上	

お住まいについてうかがいます	
問2 今後も、現在のお住まいに住み続けたい（住み続ける予定）ですか。（ はひとつ）	
1. はい （ 問2-1へ）	2. いいえ （ 問2-2へ）

問2-1 【問2で「1.はい」に をつけた方におたずねします】
住み続けたいと思う理由は何ですか。この中からあてはまるものすべてお選びください。

1. 家が新しいから	2. 家の広さがちょうどいいから
3. 家の設備等が便利だから	4. 立地が便利などところにあるから
5. 一人が気楽だから	6. 住み慣れているから
7. 家賃や税金などの経済的負担が軽いから	8. 近隣との関係がよいから
9. 環境がよいから	10. 健康状態がよいから
11. 他に住むところがないから	12. 引っ越すのが負担だから
13. その他（ ）	

前回調査項目とした理由・今回調査時の検討内容（案）
問1 以降の質問にある生活状況等について、ひとり暮らしの年数とどういう関係にあるのか。1つのクロス集計のキーと考えて、設問を設定。 【そのまま(ひとり暮らし調査)】 (ひとり暮らし 問1) ・他の設問とのクロス集計のため、継続項目として検討する。
問2 住まいが、今後、高齢者施策を考えていく上で重要な事項になってくる。問2は、住み続けたいと思う理由、住み続けたくないという理由は何かの問。 【削除】 (参照:本人調査 問27) ・本人調査(問27)において、介護等が必要になった際の暮らし方として在宅生活の希望の設問を設けているため、設問を絞る方向で検討。
本人調査・問27 あなたは介護や援護が必要となった場合、どのような暮らし方をしたいと思いますか。 1. 現在の住宅に住み続けたい。 2. 段差の解消や手すりの設置・・・安全・安心に暮らす対応がされた住宅に入居したい。 3. 介護付有料老人ホームや・・・などに入居したい。 4. 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい。 5. その他（ ）

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
問2-2 【問2で「2.いいえ」に をつけた方におたずねします】 住み続けたいと思わない理由は何ですか。この中からあてはまるものすべて からお選びください。	
1. 家が老朽化しているから	2. 家が狭いまたは広いから
3. 家の管理が大変だから	4. 家の設備等が不便だから
5. 立地が不便なところにあるから	6. 誰かと暮らしたいから
7. 施設等に入所したいから	8. 家賃や税金などの経済的負担が重いから
9. 近隣との関係がよくないから	10. 環境がよくないから
11. 健康状態がよくないから	12. その他()

問3(1) お住まいの中に、手すりがありますか。	
1. ある	2. ない
手すりがある場所に をつけてください 浴室 トイレ 玄関 廊下 階段 その他()	

問3(2) お住まいで段差解消の工事を行ったことがありますか。あるいは、お住 まいへ入居した時に、段差解消がされていましたか。	
1. 段差を解消した所がある	2. ない
段差がない場所に をつけてください 浴室 トイレ 玄関 部屋と部屋の間 その他()	

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
【削除】（参照:本人調査 問27） ・本人調査(問27)において、介護等が必要になった際の暮らし方として在宅 生活の希望の設問を設けているため、設問を絞る方向で検討。
問3 バリアフリー関係の設問。手すりや段差の解消など、代表的なものを設定。本人 調査の結果を掘り下げて設問を設定したもの。
【削除】（参照:本人調査 問5） ・本人調査(問5)にバリアフリーの対応状況に関する設問があるため、設問を 絞る方向で検討。
本人調査・問5 お住まいの住宅は、高齢者が安全・安心に暮らす対応がされています か？ 1. 室内の段差等を解消している（されている） 2. 階段や廊下等に手すりを設置している（されている） 3. トイレや浴室を使いやすく改修している（されている） 4. 緊急時対応の職員が配置されている 5. 特に対応していない（対応されていない）

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容
<p>室内などで転ばれたかどうかがあります</p>
問4 この1年間に転んだことがありますか。（はひとつ）
1. ある（問4-1へ） 2. ない
問4-1 【問4で「1.ある」に つけた方におたずねします】 それはどこで転びましたか。この中からあてはまるものすべてお選びください。
1. 居室（居間、寝室など） 2. 浴室 3. トイレ 4. 玄関 5. 階段 6. その他の家の中（ ） 7. 屋外
問5 転ばないために、日常生活ではどのようなことに気をつけていますか。この中からあてはまるものすべてお選びください。
1. 室内の整理・整頓に努めている 2. 手すりの設置、敷居などの段差をなくす、玄関や足元の照明を明るくするなど、転ばない環境づくりに努めている 3. 生活の中に運動を取り入れるなど、筋力低下を予防している 4. 何もしていない 5. その他（ ）

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問4、問5 ・転倒予防リスクの把握
【削除】 ・設問数を絞る観点から調査項目にしない方向で検討。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
<p>安全対策や防災対策で意識していることについてうかがいます</p> <p>問6 安全対策のための設備や、安全や防災面で普段意識していることには、どのようなものがありますか。この中からあてはまるものすべてお選びください。</p>	
1. 消火器がある	2. 非常ベルがある
3. 誘導灯、誘導標識がある	4. 非常口や非常階段がある
5. 火災警報器がある	6. 緊急通報システムがある
7. 住居の耐震補強等をしている	8. 鉄筋・鉄骨造の住居である
9. ベランダ等、玄関とは別の避難経路がある	10. 避難場所を把握している
11. 防災セット(非常持出し袋)を用意している	12. 近くの医療機関を把握している
13. わからない	14. 何もない
15. その他()	

日常生活についてうかがいます	
問7 普段、仕事や家事以外では主にどのようなことをして過ごすことが多いですか。この中からあてはまるものすべてお選びください。	
1. テレビ、ラジオ	2. 新聞、雑誌
3. 家族・親族との団らん	4. 孫と遊ぶ
5. 仲間と集まったり、おしゃべりをする	6. 自宅でする趣味・娯楽
7. 自宅外でする趣味・娯楽	8. 軽い運動やスポーツ
9. 日帰りの行楽(ハイキング、公園など)	10. 飲食・ショッピング
11. 学習活動	12. ドライブ
13. 地域や社会のための活動	14. インターネット・メール
15. 通院	16. デイサービス
17. 何もしないのでのんびりする	18. その他()

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
<p>問6 高齢者等の社会的弱者は、災害が起きたときに、一番被害に会う可能性が高い。災害時の要援護者の支援に対する取り組みについて、危機管理や防災の意識、また啓発も兼ねる意味合いで、普段意識していることや設備問うについて尋ねる設問。</p> <p>【本人調査へ移行】（参照：本人調査 問37・問37-1・問38） ・災害時の避難に関する設問に絞る方向で検討。 ・災害に関する項目について、本人調査(問37・問37-1・問38)に設問を新設している。</p> <p>本人調査・問37 あなたは、災害時や緊急時に一人で避難することはできますか。 本人調査・問37-1 手助けを頼める人はいますか。 本人調査・問38 災害が起きたときの心配事がありますか。</p>
<p>問7 日常生活について、普段どういったことをして過ごしているか。一人暮らしの方の日常の活動状況について把握する項目。</p> <p>【削除】 ・設問数を絞る観点から、調査項目にしない方向で検討。</p> <p>前回調査では、「テレビ、ラジオ」が8割を超えており、「新聞、雑誌」が6割弱、「通院」が4割ほど。</p>

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
問8(1) 普段、掃除はご自身でされますか。	
1. はい	2. いいえ 誰が掃除をするかご記入ください ()

問8(2) 普段、洗濯はご自身でされますか。	
1. はい	2. いいえ 誰が洗濯をするかご記入ください ()

問8(3) 普段、日用品などの買い物はご自身でされますか。	
1. はい	2. いいえ 誰が買い物をするかご記入ください ()

問8(4) 日常のごみ出しはご自身でされますか。	
1. はい	2. いいえ 誰がごみ出しをするかご記入ください ()

問8(5) 布団干しはご自身でされますか。	
1. はい	2. いいえ 誰が布団干しをするかご記入ください ()

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問8 家事に焦点を当てる形で、掃除、洗濯、買い物、ごみ出し、布団干しなど、実際に、どういう状況であるのかを把握することで、今後の具体的な支援策等の必要性について検討することを目的に設定。
【削除】（参照：本人調査 問7） ・本人調査（問7）に、日常生活全般に関する設問があるため、設問を絞る方向で検討。
前回調査では、すべての項目で「はい」が8～9割ほど。
本人調査・問7 あなたの日常生活の状況についておたずねします。 1 日常生活は自分で行え、一人で外出できる。 2 ……近所であれば一人で外出できる。 3 家の中での生活はできるが、一人で外出はできない。 4 家の中の生活は手助けが必要で、日中もふとんの上にいる 5 トイレ、食事、着替えなど介助が必要……。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
<p>食事についてうかがいます</p> <p>問9 食事はどのように用意されることが多いですか。この中から週1回以上利用するものをすべてお選びください。また、週1回以上利用するものについて、その頻度についてお答えください。</p>	
食事の用意の方法	頻度（左でつけたものについて）
1. 自宅で自分で調理	（ほぼ毎日・週に3,4日・週1日以上）
2. 自宅で自分以外の人が調理 （誰が調理するかご記入ください：）	（ほぼ毎日・週に3,4日・週1日以上）
3. 売っている惣菜、持ち帰り弁当	（ほぼ毎日・週に3,4日・週1日以上）
4. 出前	（ほぼ毎日・週に3,4日・週1日以上）
5. 外食	（ほぼ毎日・週に3,4日・週1日以上）
6. デイサービスの食事	（ほぼ毎日・週に3,4日・週1日以上）
7. 近所からのおすそ分け	（ほぼ毎日・週に3,4日・週1日以上）
8. 子どもや孫が届けてくれる料理	（ほぼ毎日・週に3,4日・週1日以上）
9. その他（）	（ほぼ毎日・週に3,4日・週1日以上）

問10 食事の後片付けはご自身でされますか。

1. はい	2. いいえ 誰が食事の後片付けをするかご記入ください （）
-------	--------------------------------------

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
<p>問9、10 食事について、自分で調理しているか、どんなサービスを利用されているかなど、状況を把握をすることにより、必要な支援を考える。</p> <p>【削除】 ・設問数を絞る観点から、調査項目にしない方向で検討。</p> <p>前回結果では、自分で調理が8割近い回答となっている。 後片付けの結果は、9割以上が自分でやっている。</p>

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
問11 普段の食事で困っていることはありますか。困っていることについて、この中からあてはまるものすべてお選びください。	
1. 作るのが面倒	2. メニューを考えるのが面倒
3. 栄養のバランス	4. 調理器具が使いにくい
5. 市販の弁当や惣菜の味があわない	6. 市販の弁当や惣菜の量が多い
7. 買い物に行くのが面倒	8. 近くに適当な店がない(少ない)
9. 近くに外食に適当な店がない(少ない)	10. 配食サービスがない、回数が少ない
11. 食費が高つく	12. 持病等で食事に制限がある
13. 一人で食べるのは味気ない	14. 食事でむせることがある
15. その他()	16. 特にない

がいしゅつ 外出についてうかがいます			
問12(1) 買い物のための外出はどのくらいの頻度でしますか。			
1. 週4回以上	2. 週1～3回	3. 月1～3回	4. ほとんど外出しない

問12-1(1) 買い物へは、主にどのようにして行きますか。あてはまるものすべてにをつけてください。また、その片道にかかる時間は平均どれくらいですか。			
1. 徒歩	2. 自転車	3. 公共交通機関や自動車	(分)

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問11 食事の関係について。食生活上、困っていることを把握するため。
【削除】 ・設問数を絞る観点から、調査項目にしない方向で検討。

問12
外出状況について、通院や通勤などの生活に必要な部分だけの外出と、散歩や趣味といった活動での外出について、どういった目的での外出が多いのかを把握。
【削除】 （参照：本人調査 問8・問8-1・問9） ・本人調査の問8と一部重複している。 ・本人調査（問9）において、外出の目的を聞く設問を設けている。
前回調査では、買い物の外出は「週1～3回以上」が9割近く。
本人調査・問8 あなたは、買物や散歩を含め、どれくらい外出しますか。 1 ほとんど毎日 2 週に1回以上外出する 3 月に1～3回しか外出しない 4 ほとんど外出しない

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
問 12(2) 通院のための外出はどのくらいの頻度ですか。	
1. 週4回以上 2. 週1～3回 3. 月1～3回 4. ほとんど外出しない	
問 12 - 1(2) 通院へは、主にどのようにして行きますか。あてはまるものすべてにつけてください。また、その片道にかかる時間は平均どれくらいですか。	
1. 徒歩	2. 自転車 3. 公共交通機関や自動車 (分)

問 12(3) 【仕事をしている方のみお答えください】 仕事のための外出はどのくらいの頻度ですか。	
1. 週4回以上 2. 週1～3回 3. 月1～3回 4. ほとんど外出しない	
問 12 - 1(3) 仕事へは、主にどのようにして行きますか。あてはまるものすべてにつけてください。また、その片道にかかる時間は平均どれくらいですか。	
1. 徒歩	2. 自転車 3. 公共交通機関や自動車 (分)

問 12(4) 散歩や趣味の活動などのための外出はどのくらいの頻度ですか。	
1. 週4回以上 2. 週1～3回 3. 月1～3回 4. ほとんど外出しない	
問 12 - 1(4) 散歩や趣味のための外出へは、主にどのようにして行きますか。あてはまるものすべてにつけてください。	
1. 徒歩	2. 自転車 3. 公共交通機関や自動車
問 13 外出される際はどなたと一緒にが多いですか。	
1. だいたいひとり	2. 子ども、孫など家族
3. 友人、知人	4. その他 ()
問 13 - 1 外出する際には、どのような福祉用具を使いますか。	
1. 何も使わない	2. 杖 3. 手押し車（シルバーカー）
4. 車いす	5. その他 ()

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問12 外出状況について、通院や通勤などの生活に必要な部分だけの外出と、散歩や趣味といった活動での外出について、どういった目的での外出が多いのかを把握。
【削除】（参照：本人調査 問8・問8-1・問9） ・本人調査の問8・問8-1・問9と一部重複している。 ・本人調査（問9）において、外出の目的を聞く設問を設けている。
移動手段は、徒歩が圧倒的に多く5割を超える。

問13 外出の際の状況、福祉用具等の使用についての確認。
【削除】（参照：本人調査 問8・問8-1・問9） ・外出の設問は、本人調査（問8・問8-1・問9）における外出の頻度に絞る方向で検討。
前回結果では、「ひとりで外出」が8割近く。 福祉用具を使わないが7割近くとなっている。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容		
家族や友人など人とのつながりについてうかがいます		
問 14(1) 電話なども含め、連絡を取り合う家族や親族はいらっしゃいますか。 この中から連絡を取り合う方すべてお選びください。		
1. 子ども	2. 孫	3. 子の配偶者
4. 兄弟姉妹	5. 親	6. おじ・おば
7. おい・めい	8. いとこ	9. その他()
10. いない(いないとお答えの場合は問 15 へお進みください)		

問 14(2) 問 14(1)で つけた家族や親族のうち、実際に行き来のある方はどなたですか。あてはまるものすべてに をつけてください。		
1. 子ども	2. 孫	3. 子の配偶者
4. 兄弟姉妹	5. 親	6. おじ・おば
7. おい・めい	8. いとこ	9. その他()
10. いない		

問 14(3) いちばん行き来のある家族や親族はどなたですか。(問 14(2)で「10. いない」と答えた方は、いちばん連絡しあう家族や親族はどなたですか。) (はひとつ)		
1. 子ども	2. 孫	3. 子の配偶者
4. 兄弟姉妹	5. 親	6. おじ・おば
7. おい・めい	8. いとこ	9. その他()

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問14 家族や友人などとのつながり、地域生活の状況について、ひとり暮らし高齢者が社会とどうつながっているかを把握するための設問。
【改変し残す(ひとり暮らし調査)】(ひとり暮らし 問3) ・ひとり暮らし高齢者の家族とのつながりの実態を把握するため、継続項目として検討。 ・孤立化等の実態把握のため。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容
問 14-1 問 14(3)で をつけた家族や親族の方のお住まいはどちらですか。（ はひとつ）
1. 同一連合町会（小学校区）程度 2. 同一区内 3. 大阪市内 4. 大阪府内 5. 近畿圏内 6. 他府県、国外
問 14-2 問 14(3)で をつけた家族や親族の方との行き来の頻度（行き来の無い場合は連絡の頻度）はどれくらいですか。（ はひとつ）
1. 週 4 回以上 2. 週 1～3 回 3. 月 1～3 回 4. 年に数回 5. それ以下
問 15 ペットを飼っていますか。（ はひとつ）
1. いる 2. いない
問 16 日頃、親しくしている友人はいらっしゃいますか。（ はひとつ）
1. いる（ 問 16-1 へ） 2. いない
問 16-1 【問 16 で「1. いる」に をつけた方におたずねします】 その友人とはどれくらいの頻度で連絡を取り合いますか。（ はひとつ）
1. 週 4 回以上 2. 週 1～3 回以上 3. 月 1～3 回 4. 年に数回 5. それ以下
問 17 家族や親族、友人、知人の方等と連絡しあう手段には何がありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。
1. 固定電話 2. 携帯電話（通話） 3. 携帯電話（メール） 4. パソコン（メール） 5. 直接訪ねる・訪ねてくる 6. その他（ ）

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問14 家族・友人などのつながり、地域生活の状況について、ひとり暮らし高齢者が社会とどうつながっているかを把握するための設問。
【改変し残す(ひとり暮らし調査)】 （ひとり暮らし 問4・問5） ・ひとり暮らし高齢者の家族とのつながりの実態を把握するため、継続項目として検討。 ・孤立化等の実態把握のため。
前回は、子どもが6割を超え、兄弟姉妹5割が続く。また「いない」は1割ほど。
問15 ひとり暮らしでペットを飼っている人が多いとの意見をを受けて設問を設定。
【削除】 ・家族や地域とのつながりの把握に絞る方向で検討。
前回調査では、「ペットがいる」が1割弱。
問16、17 ひとり暮らし高齢者が一番親しくされている方はどういった方が、近所にお住まいか、離れたところか。知人・友人とのつながりを把握する。
【改変し残す(ひとり暮らし調査)】 （ひとり暮らし 問6・問6-1・問6-2） ・ひとり暮らし高齢者の友人とのつながりの実態を把握するため、継続項目として検討。 ・孤立化等の実態把握のため。
「友人がいる」は7割を超える。 連絡を取り合う手段は、固定電話が7割を超える。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容
<p>ちいきせいかつ 地域生活についてうかがいます</p>
問18 現在の地域に住まれてどれくらい経ちますか。（はひとつ）
1. 1年未満 2. 1年以上3年未満 3. 3年以上5年未満 4. 5年以上10年未満 5. 10年以上20年未満 6. 20年以上30年未満 7. 30年以上 8. 生まれてからずっと
問19 近所付き合いはありますか。あるでしたら、どの程度のお付き合いをしていますか。（はひとつ）
1. 親しく付き合っている 2. 話をする程度 3. 挨拶程度 4. ほとんどない（問19-1へ）
問19-1 【問19で「4.ほとんどない」に をつけた方におたずねします】 付き合いがほとんどないのはなぜですか。この中からあてはまるものすべてお選びください。
1. 仕事や家事で忙しく時間が無いから 2. 引越してきて間もないから 3. 近所と付き合いきっかけや機会が無いから 4. 同世代の人が近くにいないから 5. 気の合う人、話の合う人が近くにいないから 6. あまり関わり合いをもちたくないから 7. その他（ ） 8. 特に理由はない

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問18 現在住んでいる地域での生活がどれくらいの期間かを問う設問。地域活動や地域生活の状況に関し、クロス集計のキーのひとつとする。
【本人調査へ移行】（本人調査 問2(4)） ・本人調査に地域活動等に関する設問を移行する方向で検討。 ・地域活動とのクロス集計用として位置付ける（（本人調査 問2(4)））。
問19 ひとり暮らし高齢者の近所とのつながりを把握する設問。近所付き合いがどうか、付き合いがないという方、なぜ近所の方とお付き合いをもたれてないのか理由を聞いて状況を確認。
【本人調査へ移行】（本人調査 問18・問18-1） ・本人調査(問18・問18-1)について、孤立化に関する設問を設けたため、孤立化に関連する設問としての位置づけを検討。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
問21 町会や老人会など、地域での活動に参加していますか。 (催し物の例：地域の祭り、盆、花見、バザー等...)	
1. 役員に就いたり、催し物などで何らかの役割を担うなど自ら積極的に参加している	} (問21-1へ)
2. 頼まれたり誘われたりした時に、役員に就いたり、催し物で何らかの役割を担っている	
3. 催し物を見に行ったりする	
4. ほとんど参加していない	} (問21-2へ)
5. 町会や老人会などには入会していない	

問21-1 具体的にどのような活動をしているかご記入ください。	
<div style="border: 1px solid black; height: 40px;"></div>	

問21-2 積極的に参加しない、あるいは町会や老人会などに入会していない理由は何ですか。この中からあてはまるものすべてお選びください。	
1. 時間が無い	2. 興味をひくものがない
3. 心身上の都合	4. 費用がかかる
5. 一緒に参加する人がいない	6. きっかけがない
7. 町会などが無い・活動を知らない	8. 参加したくない
9. 参加するのが面倒	10. その他()

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問20、21 地域活動への参加意識や地域貢献への意識およびいきがい施策について問う設問として改編し、本人調査(問19・問19-1・問19-2・問24)へ移行。
[本人調査へ移行] (本人調査 問19・問19-1・問19-2・問24) ・ボランティアや趣味の活動、地域活動全般についての、参加状況を把握する設問として検討する。 ・本人調査の設問として検討する。
前回調査では、「町会や老人会に入会していない」、「ほとんど参加していない」が、6割を超える。 参加等していない理由は、心身上の都合が一番多い。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容
問22 <small>きんじよ</small> 近所づきあいや地域のつながりは必要 <small>ひつよう</small> と思 <small>おも</small> いますか。
1. <small>ひつよう</small> 必要 2. どちらかといえば必要 3. あまり必要ない 4. <small>ふよう</small> 不要
問22 - 1 へ 問22 - 2 へ
問22 - 1 <small>ひつよう</small> 必要と思 <small>おも</small> う理由 <small>りゆう</small> は何 <small>なん</small> ですか。その理由 <small>りゆう</small> を <small>きにゆう</small> 記入 <small>きい</small> ください。
問22 - 2 <small>ひつよう</small> 必要がないと思 <small>おも</small> われる理由 <small>りゆう</small> は何 <small>なん</small> ですか。その理由 <small>りゆう</small> を <small>きにゆう</small> 記入 <small>きい</small> ください。
<div style="border: 1px solid black; height: 50px;"></div>
問23 <small>しゅうかん</small> 1週間 <small>だれ</small> のうち、誰 <small>はなし</small> とも話 <small>ひ</small> をしない日 <small>なんにち</small> は何日 <small>ひ</small> くらいありますか。
1. <small>しゅう</small> 週1日 <small>いちにち</small> 以下 2. 週2、3日 3. 週4、5日 4. <small>いじょう</small> 週6日 <small>いちにち</small> 以上
問24 <small>にちじょうせいかつ</small> 日常生活 <small>しえん</small> の支援 <small>しえん</small> についてうかがいます
問24 <small>にちじょう</small> 日常の用事 <small>ようじ</small> ・支援 <small>しえん</small> をどなたか <small>たの</small> に頼 <small>たの</small> みますか。この中 <small>なか</small> からいくつでもあげてください。（例：重い物 <small>おも</small> の持 <small>も</small> ち運 <small>はこ</small> び、車 <small>くるま</small> での送迎 <small>そうげい</small> 等）
1. <small>こ</small> 子 <small>こ</small> ども 2. <small>まご</small> 孫 3. <small>こ</small> 子 <small>はいごうしよ</small> の配 <small>はい</small> 偶 <small>ご</small> 者
4. <small>きょうだいしまい</small> 兄 <small>あに</small> 弟 <small>い</small> 姉 <small>あね</small> 妹 <small>いもうと</small> 5. <small>た</small> 其 <small>かぞく</small> 他 <small>しんぞく</small> の家族 <small>しんぞく</small> 、親 <small>おや</small> 族
6. <small>ゆうじん</small> 友 <small>とも</small> 人、知 <small>ち</small> 人
7. <small>となりきんじよ</small> 隣 <small>となり</small> 近 <small>きんじよ</small> 所 <small>しよ</small> の <small>ひと</small> 人 8. <small>ちいき</small> 地 <small>ち</small> 域 <small>いき</small> ネ <small>ずい</small> ッ <small>しん</small> ワ <small>いん</small> ーク推 <small>すい</small> 進 <small>しん</small> 員
9. <small>みんせい</small> 民 <small>みん</small> 生 <small>せい</small> 委 <small>い</small> 員
10. ボランティア 11. <small>た</small> 其 <small>た</small> 他 <small>た</small> （ ） 12. <small>たの</small> 頼 <small>たの</small> むよう <small>ひと</small> なことが <small>ない</small>
13. <small>たの</small> 頼 <small>たの</small> む人 <small>ひと</small> は <small>ない</small>

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問22 地域とのつながりについての認識・ニーズについて確認する。
【削除】 ・設問数を絞る観点から、調査項目にしない方向で検討。 ・前回調査では、「どちらかといえば必要」以上が8割を超える。
問23 地域とのつながりや、1週間のうち、だれとも話をしない日があるか、孤立状況にあるのかどうかを確認する。
【改変し残す(ひとり暮らし調査)】 （ひとり暮らし 問7） ・ひとり暮らし高齢者の孤立化等の状況把握の項目として検討。
問24 日常生活の支援。ひとり暮らし高齢者が実際に、どういった支援を受けているのかの把握。
【削除】 ・ひとり暮らし高齢者の緊急時等の支援状況の設問に絞る方向で検討。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）															
<p>問25 地域のボランティアなど（家族や親族からの支援のほか、介護保険事業者などお金を払って受けるサービス以外）から次の(1)～(5)それぞれの支援を受けたことがありますか。</p> <p>(1)身体介助</p> <table border="1"><tr><td>1. 現在受けている</td><td>2. 必要だが受けていない</td><td>3. 必要が無く受けていない</td></tr></table> <p>(2)安否確認の声かけ</p> <table border="1"><tr><td>1. 現在受けている</td><td>2. 必要だが受けていない</td><td>3. 必要が無く受けていない</td></tr></table> <p>(3)家事援助</p> <table border="1"><tr><td>1. 現在受けている</td><td>2. 必要だが受けていない</td><td>3. 必要が無く受けていない</td></tr></table> <p>(4)外出の手助け</p> <table border="1"><tr><td>1. 現在受けている</td><td>2. 必要だが受けていない</td><td>3. 必要が無く受けていない</td></tr></table> <p>(5)話し相手、相談相手</p> <table border="1"><tr><td>1. 現在受けている</td><td>2. 必要だが受けていない</td><td>3. 必要が無く受けていない</td></tr></table> <hr/> <p>問25-1 【問25(1)から(5)のいずれかで「1.現在受けている」に をつけた方におたずねします】具体的にはどのような支援ですか</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <hr/> <p>問25-2 【問25(1)から(5)のいずれかで「2.必要だが受けていない」に をつけた方におたずねします】支援を必要としながら受けておられない理由はなぜですか。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない	1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない	1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない	1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない	1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない	<p>問25、26 家事サービスや、ボランティアからの援助を受けておられるのかどうか、社会からの支援についてを受けているのかどうか。</p> <p>【本人調査へ移行】（本人調査 問22・問23）</p> <ul style="list-style-type: none">・地域における支え合い支援（互助）等の把握のため。・支援を受けた状況ではなく、できる支援の内容、地域の支援の必要性に関する設問とする。 <p>「必要が無く受けていない」がすべての項目で8割前後。</p>
1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない														
1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない														
1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない														
1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない														
1. 現在受けている	2. 必要だが受けていない	3. 必要が無く受けていない														

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
問 26 今後、地域のボランティアなどから次の(1)～(5)それぞれの支援を受けたいと思えますか。現在、支援が必要の無い方は、今後支援が必要になったと想定してお答えください。	
(1)身体介助	
1. 受けたい	2. 受けたくない
(2)安否確認の声かけ	
1. 受けたい	2. 受けたくない
(3)家事援助	
1. 受けたい	2. 受けたくない
(4)外出の手助け	
1. 受けたい	2. 受けたくない
(5)話し相手、相談相手	
1. 受けたい	2. 受けたくない

問 26 - 1 【問 26(1)から(5)のいずれかで「1.受けたい」に つけた方におたずねします】具体的にはどのような支援を受けたいですか。	
<div style="border: 1px solid black; height: 60px;"></div>	

問 26 - 2 【問 26(1)から(5)のいずれかで「2.受けたくない」に つけた方におたずねします】支援を受けたくない理由は何か。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1. 家族や親族からの支援が良いから</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2. 他人から無償で支援を受けるのは気がひけるから</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3. その他 ()</div>	

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問25、26 家事サービスや、ボランティアからの援助を受けておられるのかどうか、社会からの支援についてを受けているのかどうか。
【本人調査へ移行】（本人調査 問22・問23） ・地域における支え合い支援(互助)等の把握のため。 ・支援を受けた状況ではなく、できる支援の内容、地域の支援の必要性に関する設問とする。
地域からの支援については、いずれも「受けたい」が4割超。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
問27 地震や火災などの災害時に、一人で判断して避難することができますか。	
1. 避難できる	2. 一人で判断できるが、避難はできない
3. 一人では判断できないし、避難もできない	4. わからない

問28 災害時や、急な怪我や病気などの時に支援してくれる人はいますか。		
1. いる（問28-1へ）	2. いない	3. わからない

問28-1 【問28で「1. いる」につけた方におたずねします】それは誰ですか。この中からあてはまるものすべてお選びください。また、その方に連絡してから支援に来てもらえるまでのおおよそ何分くらいかかりますか。

1. 子ども (分)	2. 孫 (分)
3. 子の配偶者 (分)	4. 兄弟姉妹 (分)
5. その他の家族、親族 (分)	6. 友人、知人 (分)
7. 隣近所の人 (分)	8. かかりつけ医 (分)
9. 地域ネットワーク推進員 (分)	10. 民生委員 (分)
11. ホームヘルパーや訪問看護師 (分)	12. その他 () (分)

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問27 災害弱者となる高齢者の、災害時等の状況、状態の把握
【本人調査へ移行】（本人調査 問37・問37-1・問38） ・本人調査（問37）として設定する方向で検討。
問28 災害弱者となる高齢者の、災害時等の状況、状態の把握
【改変し残す（ひとり暮らし調査）】（ひとり暮らし 問8・問8-1） ・孤立化等との関連で、急な怪我や病気などの際の支援者の状況については、ひとり暮らし調査として継続を検討する。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
<p>身体的介護や生活介護についてうかがいます</p>	
問29 この一年間に病气やけがで3日以上、身体的介護や生活介護が必要な状態になったことがありますか。	
1. ある（問29-1、問29-2へ）	2. ない

問29-1 【問29で「1.ある」に をつけた方におたずねします】その時、どこで（どのように）療養されましたか。（介護保険制度によるサービスを受けた場合を除く）この中からあてはまるものすべてお選びください。	
1. 自宅で療養した	2. 病院に入院した
3. 施設などに入所した	4. その他（ ）

問29-2 【問29で「1.ある」に をつけた方におたずねします】その時、誰に支援してもらいましたか。この中からあてはまるものすべてお選びください。	
1. 子ども	2. 孫
3. 子の配偶者	4. 兄弟姉妹
5. その他の家族、親族	6. 友人、知人
7. 隣近所の人	8. かかりつけ医
9. 地域ネットワーク推進員	10. 民生委員
11. ホームヘルパーや訪問看護師	12. その他（ ）

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問29 実際に支援が必要となった際の療養の状況を把握する。
[改変し残す(ひとり暮らし調査)] (ひとり暮らし 問10・10-1) ・孤立化等の関連で、過去支援が必要となった際にどのような支援を受けたかについて把握するための項目として継続を検討。
病院への入院が6割を超えるが、自宅療養も4割近い。

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
<p data-bbox="129 252 607 300">権利擁護に関することについてうかがいます</p> <p data-bbox="143 316 981 384">問 30 将来に向けて、権利擁護等に関して不安を感じることはありますか。この中からあてはまるものすべてをお選びください。</p> <ol data-bbox="143 395 981 746" style="list-style-type: none">1. 不動産や預貯金などの財産を管理すること2. 介護サービスを受けたり、施設へ入所したりする際の契約に関すること3. 悪質商法の被害にあうこと4. その他（ ）5. 困っていることはない6. 分からない	<p data-bbox="1178 268 1688 331">問30、31 権利擁護や、成年後見制度等の状況把握。</p> <p data-bbox="1167 395 1984 491">【本人調査へ移行】（本人調査 問42(6)・(7)） ・本人調査(問42(6)・(7))の調査項目として実施する方向で検討。 ・あんしんサポート、成年後見制度は、認知度を把握する項目とする。</p>
<p data-bbox="143 802 981 938">問 31(1) 認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な方を保護、支援するために、法的に権限を与えられた後見人等が、本人の意思を尊重しながら、本人の生活や財産を守る「成年後見制度」がありますが、この制度を知っていますか。</p> <ol data-bbox="143 954 981 1121" style="list-style-type: none">1. (制度の内容を含めて)知っている2. 聞いたことはあるが、制度の内容はよくわからない3. 知らない、またはわからない	
<p data-bbox="143 1177 981 1313">問 31(2) 大阪市では、認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービス等の利用援助、金銭管理サービス、通帳や証書類の預かりサービスを行う「あんしんさぼーと事業（日常生活自立支援事業）」を行っていますが、この事業を知っていますか。</p> <ol data-bbox="143 1329 981 1481" style="list-style-type: none">1. (事業の内容を含めて)知っている2. 聞いたことはあるが、事業の内容はよくわからない3. 知らない、またはわからない	

前回との調査項目対比表

前回（平成22年）調査票の内容	
情報についてうかがいます	
問32 普段、情報をどこから得ていますか。この中からあてはまるものすべてお選びください。	
1. 家族、親戚	2. 友人、知人、近所の人
3. テレビ	
4. ラジオ	5. インターネットなど
6. 新聞	
7. 雑誌	8. チラシ、折込、DM等
9. 職場	
10. その他（ ）	11. 特にない

問33 どのような情報が欲しいと思いますか。この中からあてはまるものすべてお選びください。	
1. 旅行やレジャーなどの趣味に関すること	
2. 教養講座などの学習活動、文化的な催しに関すること	
3. 地域の行事に関すること	
4. ボランティア活動に関すること	
5. 年金に関すること	
6. 医療に関すること	
7. 介護、福祉の制度に関すること	
8. 食生活や食事サービスに関すること	
9. 住まいの情報に関すること（高齢者向け住宅や、改修など）	
10. 在宅ケア、介護サービス、家事援助など生活上の世話に関すること	
11. 介護、福祉の施設に関すること	
12. その他（ ）	
13. 特にない	

前回（平成22年）に調査項目とした理由・今回調査時の方針（案）
問32 高齢者は情報を得る手段が少ないのではないかと。最近、インターネット等があるが、こういったツールを使って必要な情報を得られておられるか。
【削除】（参照：本人調査 問44） ・本人調査の問44と重複のため削除。
本人調査・問44 あなたは高齢者向けのサービスなどの情報をどこから得ていますか。 1 区政だよりなどの広報誌 2 市のホームページ、メールマガジンなど 3 新聞・テレビ・ラジオなど 4 家族・友人・知人など 5 町会・自治会 ほか